



# 女性のうたごえ合唱団ニュース

60周年記念日本のうたごえ祭典事務所内169-0092 新宿区大久保 2-16-36

Tel 03-3200-4977 FAX 03-6801-7399 E-mail: utagoe60@ky.main.jp

60周年記念日本のうたごえ祭典in東京 女性のうたごえ合唱を成功させる会

URL: [http://music.geocities.jp/j\\_utagoe\\_60/](http://music.geocities.jp/j_utagoe_60/) E: Mail j\_utagoe\_60@yahoo.co.jp



日本のうたごえ祭典が間近になり、お忙しい日々をお過ごしと思います。10月30日に女性のうたごえ合唱を成功させる会・第2回を開きました。19サークル・団体と個人あわせて31名の参加でした。祭典の組織・企画について、衣装、リハーサル時間についての報告の後、祭典に向けての取り組みを交流しました。(交流については裏面) 交流後は「花」「いとし子よ」「青い空」「ねがい」の練習もしました。

また、この日に女性のうたごえ合唱を成功させる会のよびかけ人になって下さる方を新たにお願ひし「よびかけ文」を作りましたので大いに活用して下さい。

## 1) 企画について

大音楽会出演の時間などについて(11/2 現在。変更のある場合は再度お知らせします。)

- 集合 8:30 までにお集まり下さい。1000人の並びになるためにご協力願います。
- リハーサル時間 9:10~40 「青い空はグループ」舞台リハーサル その後場所を変えて練習。場所は後日決定します。時間は10/22 現在 変更があったときはご連絡します。
- 大音楽会開始 13:00~
- 演奏 15:30 すぎ (予定)

プログラムの15:05 開始(予定)「人間の歌グループ」演奏時は待機席に着席。女性のうたごえ合唱の後、「青い空は」次回開催地京都への引き継ぎ フィナーレの「ねがい」まで基本的に歌った位置にいます。

- 舞台出演のための集合・場所などは、後日(当日)ご連絡。

### 衣装

- 上: 白長袖ブラウス、セーター
- 下: 黒か紺のパンツかスカート(足捌きの良い物)
- お花を両手に持ちます。

? ピンクの薄紙(お花紙)5枚の上に折り紙の「金」を重ねた花と「銀」を重ねた花と二つ作り、24日に各自お持ち下さい。

? 「金」「銀」二つで一組、両手に持ちます。使うタイミングは当日徹底。



濃いピンクのお花紙5枚重ねる



中心を輪ゴムで止め、指に付けられるように。曇んだ状態でお持ち下さい。\*。中心が金の花、中心が銀の花、二つで一組です。

そのほか

- 1000人の合唱を揃えるために指揮を見て歌いましょう。暗譜を目指すようお願いいたします。
- 女性のうたごえ合唱は、舞台と座席に別れて歌います。それぞれの配置は事務局の方で決めますので指示に従って下さい。座席が決まっても、演奏・演出上楽譜を持つ方は、後ろに移動をお願い致しますのでご了承下さい。
- 前のプログラムの時に階段の上の方に待機、歌う直前に下りますので、足捌きの良い物、歩きやすい靴をご準備願います。
- ご高齢の方・足元の弱い方は座席に配慮致しますので、前もってお申し出下さい。

## 2) 今後の練習会

### 11/23 全国合同練習会

場所：ティアラ江東（女性のうたごえ合唱発表会会場）

時間：15:00～16:00 ごろ

（女性のうたごえ合唱発表会終了直後～日比谷で行われる記念音楽会に間に合う時間）

練習曲：「花」「いとし子よ」「青い空は」

指揮：高橋一美さん ピアノ：澤山早苗さん

どなたでも参加できます。ふるってご参加ください。

**祭典を1ヶ月後に控えて、さらにうたって参加・組織を広げるために「女性のうたごえ合唱を成功させる会」のよびかけ人を新たにお願ひしました。**

### 60周年記念日本のうたごえ祭典 in 東京 呼びかけ賛同人（敬称略・順不同）

井上美代（女性「九条の会」世話人/新日本婦人の会代表委員）

木村康子（日本母親大会代表委員）

小森香子（詩人）

高田公子（新日本婦人の会 会長）

堀江ゆり（日本婦人団体連合会 会長）

### 女性のうたごえ合唱を成功させる会呼びかけ人（敬称略・順不同）

阿部春枝（日本国家公務員労働組合連合会 女性協議会 議長）

有蘭栄子（東京母親連絡会 委員長）

太田千枝子（日本医療労働組合連合会 女性協議会 議長）

小畑雅子（全日本教職員組合 女性部 部長）

上伸子（新日本婦人の会東京都本部 会長）

岸松江（自由法曹団 女性部 弁護士）

柴田真佐子（全国労働組合総連合 女性部 部長）

前田祥子（東京地評 女性センター連絡会 代表）

## サークルの交流

新婦人の会中央本部より安達絹恵さんが参加され、どこでも小組交流会は「うたごえ」から始まるのでみんな歌が好き。「うたごえ」は一人一人でするものではなく、みんなで作り上げるすばらしさがあると思う。祭典成功がんばってください。と挨拶をいただきました。

続いての各サークルからの話は、「元気の出る経験」「参考になる意見」が生き活きと話されました。

うたごえ新聞の読者になったばかりの人が、娘さんに新聞を見せたら「私も大音楽会に行きたい！」と言われチケットが売れた。9条小組が公園でうたごえ会をやったら青年に2枚チケットが売れ、うたごえ新聞も2部拡大できた。

会員全員が一人3枚ずつチケットを持ち売っている。新婦人支部のコーラス小組があるところ6個所にアコーディオンを持って歌いに行き、チケット3枚を会員さんに売り、兄弟にも買ってもらった。

年賀状が来た人に手紙を出してお誘いしている。団の中には20枚売る人もいて現在、目標の70%となっている。

三多摩地域では、歌って参加する人を200人目標としているが、173人となった。新婦人の中では「うたごえ」がツアーではないところもある。家族や友だちには「私たちが歌います。是非聞きに来て！」と独自チラシを作りチケット1枚、チラシ5枚を封筒に入れて、レッスンに来た人に渡している。

三多摩南部では「お江戸のにぎわい」と「大音楽会」のチラシを本屋さんに置いてもらって宣伝をしている。

「ぞうれっしゃ」を取り組んでいるところでは、バギーに乗っている子どもの両親にチケットを売っている。若いお母さん達が楽しんで歌っている。若いお母さんと、ベテランお母さんの間で子育ての悩みなど話し合い、良い関係が生まれて、新婦人新聞も増やした。妊婦さんも歌うので本番が楽しみ。

日常レッスンで同じ会館を利用しているコーラスサークルに手紙を書き、合唱発表会にお誘いしたところ2団体聞きに来てくれた。選曲の参考になると全国の合唱発表会も聞きに来てくれるという繋がりを作っている。

以上のような様々な経験を聞いて、参加者からは「今日の会議に参加してよかった。今日のことを参考にこれからやりたい。」「医療生協やあそこにも、ここにもチケット預けてくればよかった」等の反省も出ましたが、「これからやればまだ間に合うからやろう」という意見も出ました。

以上のように、チケットを各サークル・合唱団では一人一人何枚かを受け持ち、創意・工夫して祭典成功のために頑張っていることが窺われました。様々な繋がりで広げつつをこれから大胆に刈り取って行くことが求められています。

お問い合わせは 大橋真理子まで [j\\_utago\\_60@yahoo.co.jp](mailto:j_utago_60@yahoo.co.jp)